

このメールは大田区の配信情報提供サービスに登録されている方に送信しています。

大田区保健所メール 5 月号 令和 7 年 4 月 28 日

【 目 次 】

- 1 感染症情報
- 2 食中毒発生状況
- 3 トピックス
暮らしの衛生パネル展
- 4 特集
食品期限表示の設定のためのガイドラインが見直されました

1 感染症情報

◆感染症の最新情報はこちらから◆

↓↓↓

○大田区「感染症週報」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/syuuhou.html

◆◆◆感染症流行状況について◆◆◆

感染性胃腸炎は第 14 週（3 月 31 日～4 月 6 日）8.31 から、第 15 週（4 月 7 日～4 月 13 日）8.15 と減少傾向ですが、昨年よりも報告数が多い状況が続いています。水痘は第 14 週 0.54 から第 15 週 0.46 と横ばいです。

【水痘（みずぼうそう）】

大田区内の水痘（みずぼうそう）の報告数は昨年よりも多い状況が続いており、また東京都と比較して感染者が多い状況です。

○水痘とは

水痘-帯状疱疹ウイルスによる感染症です。小児によくみられ、特に 2～8 歳で多いです。成人で発症すると重症化することもあります。また、ウイルスは治癒後も体の中に潜伏していて、何年も経過してから「帯状疱疹」として再発することがあります。

○感染経路

感染経路は、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる感染（飛まつ感染・空気感染）、あるいは、水疱（みずぶくれ）や粘膜の排出物に接触することによる感染（接触感染）があります。発しん出現の 1 日から 2 日前からすべての水疱が痂皮化するまで感染性があります。

○症状

水痘の特徴的な症状は、かゆみを伴う水疱と 38 度前後の発熱、全身の直径 3~5mm 程度の丘疹（盛り上がった赤い発しん）です。数日にわたり新しい発しんが次々と出現し、急性期には紅斑、丘疹、水疱、痂皮（かさぶた）のそれぞれの段階の発しんが混在します。すべての発しんが痂皮になるまで 6 日程度かかり、学校安全保健法ではすべての発しんが痂皮化するまで、出席停止となります。

○感染予防のポイント

有効な予防法は予防接種です。1 回の接種で重症の水痘をほぼ 100% 予防でき、2 回の接種で軽症の水痘も含めて発症を予防できると考えられています。また、発症した場合にも症状の軽減が期待できます。

○大田区「水痘」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/hoka_kansensyo/suitou_20250424.html

○大田区「水痘（水ぼうそう）予防接種」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/yobou_sessyu/kodomo/chickenpox.html

○带状疱疹ワクチン接種（定期・任意接種）

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/yobou_sessyu/seijin/taijouhoushin_jousei20230701.html

◆◆◆百日咳の報告数が増加しています◆◆◆

東京都全体で、2025 年の第 15 週時点の百日咳報告数は 506 件で、2024 年の同時点よりも報告数が大幅に増加しています。大田区では、2024 年の第 15 週時点の報告数は 1 件であったのに対し、2025 年の同時点での報告数は 7 件と増加傾向となっています。

○百日咳とは

百日咳菌による気道感染症で、特徴的な咳が数週間続きます。乳児の場合、無呼吸発作など重篤になることがあります。軽症でも菌の排出はあるため、予防接種をしていない新生児・乳児がいる場合は、特に注意が必要です。また、基礎疾患がある方は、症状が重篤になることがあります。心配な症状があるときは、医療機関を受診しましょう。

○感染経路

患者の咳や痰に含まれる百日咳菌が、鼻やのどの粘膜に感染して症状が出ます（飛まつ感染）。菌に汚染された物（飛まつが飛んで付着したものや菌がついた手で触れたもの）を触った手で、目、口、鼻の粘膜によって触れることによって感染することもあります（接触感染）。

○治療

抗菌薬による治療がありますが、近年抗菌薬の効かない百日咳菌が問題になっています。医療機関で処方された抗菌薬を飲み切ったあとも、特有の咳が継続している場合は咳エ

チケットを行いましょう。

○感染予防のポイント

乳幼児には予防接種法による定期予防接種が行われています。予防接種による免疫効果の持続は5年～10年です。風邪症状があり、周囲に百日咳と診断がついた人がいた場合は、医師に周囲で百日咳の患者がいたことを伝えて早めに医療機関を受診しましょう。また、日頃から咳エチケットと手洗いを心がけましょう。

○大田区「百日咳」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/hoka_kansensyo/hyaku_nichi.html

○大田区「混合ワクチン予防接種」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/yobou_sessyu/kodomo/20240401DPT-IPV-Hib.html

◆◆◆GWに海外渡航をされる皆様へ◆◆◆

海外では、国内には常在しない感染症や、国内よりも高い頻度で発生している感染症が報告されており、海外滞在中にこれらの感染症への感染を防止するためには、予防方法を知っておくことが重要です。詳しい情報は、下記のURLからご覧ください。

○大田区「海外へ渡航される皆様へ」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/infection.html

2 食中毒発生状況

■大田区の食中毒発生状況

令和7年3月に食中毒は発生していません。

■東京都の食中毒発生状況

令和7年3月に、11件（患者84名）の食中毒が発生しました（令和7年4月15日現在）。食中毒の病因物質はノロウイルス5件（患者44名）、カンピロバクター4件（患者22名）、ウェルシュ菌1件（患者17名）、アニサキス1件でした。原因施設は、飲食店（一般）でノロウイルス5件（患者44名）、カンピロバクター4件（患者22名）、ウェルシュ菌1件（患者17名）。魚介類販売業でアニサキス1件（患者1名）でした。

3 トピックス

■暮らしの衛生パネル展

春から夏へと移り替わるこの季節を健康・快適に過ごせる「生活環境づくり」についてご紹介します。暮らしに役立つ情報が盛りだくさんです。ぜひご来場ください！

▽日程 令和7年5月16日（金曜日）正午から5月22日（木曜日）午後3時まで

▽会場 大田文化の森（大田区中央二丁目10番1号） 1階 展示コーナー

▽展示内容

- ・ ネズミや蚊、ハチ、ダニなどの防除方法
- ・ 換気や結露防止など室内環境づくりのアドバイス
- ・ 健康に避難所生活を送るための環境衛生ポイント
- ・ 犬や猫の飼育ルールとマナー
- ・ ペットの災害対策
- ・ 食中毒の予防方法 など

○大田区ホームページ 「暮らしの衛生パネル展」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/eisei/sumai_soudan/oshirase/kurasin_oeiseipaneruten.html

4 【特集】食品期限表示の設定のためのガイドラインが見直されました

【食品期限表示の設定のためのガイドラインとは】

食品の期限表示には、「消費期限」と「賞味期限」があります。「消費期限」は、定められた方法により保存した場合において、安全に食べられる期限のことです。消費期限を過ぎた食品は食べないようにしてください。一方で、「賞味期限」とは、定められた方法により保存した場合において、おいしさなどの品質が保たれる期限のことです。賞味期限を過ぎた食品であっても、必ずしもすぐに食べられなくなるわけではありません。

食品期限表示の設定のためのガイドラインは、食品関連事業者が、食品の安全性の確保に関する科学的知見に基づく観点から、上記の「消費期限」と「賞味期限」を設定できるよう策定したものであり、令和7年3月に「食品ロス削減」の観点からガイドラインの見直しが行われました。

【見直しのポイント】

今回のガイドライン見直しの大きなポイントとしては、食品の特性等に応じた「安全係数」の設定の見直しがあります。「安全係数」とは、客観的な項目（指標）及び基準から得られた期限に対して、個々の商品の品質のばらつきや、季節等における温度状況等を勘案して設定する1未満の係数のことです。見直し前までは「品質のばらつきや商品の付帯環境等の変動が少ないと考えられるものについては、0.8以上を目安に設定することが望ましい」とさ

<http://hokenjyo.city.ota.tokyo.jp/>

大田区保健所メールにご登録いただき、誠にありがとうございます。また、本メールの内容を充実させていきたいと考えております。

ご質問、ご意見、ご感想を以下のアドレスにお寄せください。

次号は、5月末に配信予定です。

eisei@city.ota.tokyo.jp 担当 高野 水野